

活動レポート

北方海域技術研究会

文責：北方海域技術研究会幹事 藤井淳夫

『第 1 回定例会』と『技術研究発表会』の報告

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2010 年(平成 22 年)10 月 1 日に第 1 回定例会、2010 年(平成 22 年)12 月 20 日に技術研究発表会を開催しましたので報告いたします。

2. 『第 1 回定例会』

第 1 回定例会は、北海道開発局小樽開発建設部小樽港湾事務所で開催しました。講演会参加者は、41 名でした。はじめに、当研究会代表の大塚 夏彦氏が、今回ご協力いただいた港湾事務所様へのお礼と参加された方々への挨拶を述べました。続いて、小樽港湾事務所 小暮 逸郎 所長に開催にあたってのご挨拶を頂きました。その後、2 班に分かれて港湾業務艇での小樽港海上視察と、みなと資料館の見学会を行いました。合流後、講演会を開催し、最初は、小樽港湾事務所保全課長の杉山盛行氏に「小樽港、北防波堤及びコンクリート長期試験等の概要」と題してご講演いただきました。土木分野では有名な広井 勇 氏の功績なども含めて様々な種類のコンクリートの長期試験について大変興味深く聞かせていただきました。



講演される杉山 氏

続いて、小樽港湾事務所第 1 工務課長 渥美 洋一 氏より「小樽港北防波堤の改良について」と題して、ご講演いただき、現在行っている北防波堤の

改修工事の方法などご説明いただきました。



講演される渥美 氏

続いて当研究会の活動について、ご理解を頂くために置谷幹事より簡単な説明をいたしました。

3 つ目の講演として、北日本港湾コンサルタントの大塚 夏彦 氏より「海洋開発をめぐる最近の動向」と題して、ご講演いただきました。



講演される大塚 氏

なお、今回の定例会では、港湾業務艇に乗船し、小樽港の港湾施設を海側から視察させていただきました。特に講演にありました北防波堤を間近に見ることができたことは、参加者全員にとって貴重な経験になりました。



港湾業務艇からの視察状況

3. 『技術研究発表会』

今回の技術研究発表会は、昨年度と同様に独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所様との共催で行い、参加者は今までの最多の87名でした。開催にあたり、寒地土木研究所 寒地水圏研究グループグループ長の許士 裕恭 氏からご挨拶を頂き、その後3つの講演を行いました。

まず、講演1は、「港内防風雪施設設計評価ガイドラインについて」と題して、寒地水圏研究グループ 寒冷沿岸域チーム 総括主任研究員 小玉 茂義 氏と主任研究員 木岡 信治 氏のお二人にご講演いただきました。



講演される小玉 氏



講演される木岡 氏

続いて講演2では、水産土木チーム研究員の佐藤 仁 氏に「磯焼け地帯における藻場造成効果をねらった防波堤構造物の状況について」と題してご講演いただきました。



講演される佐藤 氏

講演3は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構中央水産試験場 資源増殖部 水産工学グループ研究主幹の干川 裕 氏に「北海道における

磯焼け対策について」と題して磯焼けの実態とその具体的な対策についてご講演いただきました。



講演される干川 氏

最後に、特別講演として、北海道開発局 農業水産部水産課 課長の堀越 伸幸 氏に「水産基盤整備について」と題して、日本の水産業全体のこれまでの経緯と今後の水産基盤整備の具体的な中身について判りやすくご説明いただきました。



講演される堀越 氏

その後の意見交歓会は、寒地土木研究所内の食堂にて開催し、46名の方が参加され、にぎやかでしかも中身の濃い意見交歓ができました。

4. おわりに

講演者の方々には、快く依頼をご承諾いただき誠に感謝いたします。特に、小樽港湾事務所様には業務艇の手配や講演会場所の提供までご協力頂き改めて感謝申し上げます。また、寒地土木研究所様には技術研究発表会を昨年同様共催で行うことができ、誠にありがとうございました。

さらに、両会とも意見交歓会では活発に情報交換できましたことを感謝いたします。

北方海域技術研究会では今後も講演会などの開催を予定しております、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。